

平成27年度第1回花巻市大迫地域協議会

会 議 録

日 時：平成27年5月18日（月）午後1時30分～午後3時03分

場 所：花巻市大迫総合支所 2階大会議室

会議次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 説 明

- ① 総合支所の機能強化について
- ② 地域づくりの仕組みについて
- ③ ぶどうの丘及び早池峰ダム周辺施設の運営について
- ④ 人口減少対策について
- ⑤ 花巻市立大迫中学校の改築について
- ⑥ 岩手県立大迫高等学校の存続について
- ⑦ 「全国神楽大会ハヤチネ」の実施について

4 そ の 他

5 閉 会

出席者

委員15名中12名出席

委員区分	団体及び役職名	委員氏名	住 所	出 欠
(1) 公共的 団体が推薦 する者	花巻農業協同組合 女性部大迫支部長	菊 月 美智子	亀ヶ森	欠
	花巻市大迫町森林組合 大迫事業センター フォレストリーダー	小 松 正 幸	内川目	○
	花巻商工会議所大迫支部 会長	山 影 義 一	内川目	欠
	花巻市社会福祉協議会 大迫支部 支部長	佐 藤 格	亀ヶ森	欠
	花巻市大迫地域区長会 会長	藤 原 秀 基	内川目	○
	大迫地区コミュニティ 振興会 副会長	村 田 俊 樹	外川目	○
	内川目コミュニティ会議 会長	伊 藤 修 悦	内川目	○
	外川目地区コミュニティ 会議 会長	佐々木 政行	外川目	○
(2) 学識経験を有する者	亀ヶ森地区コミュニティ 会議 会長	高 橋 正 克	亀ヶ森	○
		小 松 健次郎	内川目	○
		浅 沼 雅 代	大 迫	○
		菅 原 美智子	大 迫	○
		佐々木 一 夫	内川目	○
		松 坂 一 人	外川目	○
(3) 公募による者		菊 池 忠 久	大 迫	○
		なし		-

大迫総合支所

大迫総合支所長

地域振興課長

市民サービス課長

藤 原 宏 康

小 国 朋 身

佐 藤 富次男

地域支援室地域支援監	藤原正己
地域振興課長補佐	浅沼文博
地域振興課長補佐	中村陽一
市民サービス課長補佐	高橋一雄
地域振興課主任主査兼係長	阿部靖

- 1 開 会 (進行) 大迫総合支所地域振興課 課長 小国朋身
会議に先立ち、出席委員の状況について報告
委員15名中12名の出席で、委員半数以上の出席があるため、開催条件は満たすことを報告。
(花巻市地域自治区設置条例第9条第2項)
(内容については、記載を省略)

- 2 会長あいさつ
大迫地域協議会会長 佐々木 一 夫
(内容については、記載を省略)
大迫総合支所長 藤原宏康
(内容については、記載を省略)

- 3 説明及び審議 (進行) 大迫地域協議会会長 佐々木 一 夫
(内容については、記載を省略)
(会長)
それでは、平成27年度の大迫地域の課題についてということで、協議7点ありますけれども、大きく3つに分けてご説明をいただきたいと思います。①と②を1つ、③、④、⑤、⑥はそれぞれ、⑦は別な部分ということで3つに整理したいと思います。まず、①総合支所の機能強化について、②地域づくりの仕組みについての説明をお願いいたします。
(小国地域振興課長)
資料No.1により、総合支所の機能強化について説明し、資料No.2により、地域づくりの仕組みについて説明。
(説明内容については、記載を省略)
(会長)
それでは、続きまして、②地域づくりの仕組みについて説明をお願いします。
(藤原地域支援室地域支援監)
資料No.2により、地域づくりの仕組みについて説明。
(説明内容については、記載を省略)
(会長)
それでは、①、②について、何かお聞きしたいことがありましたら質問等をお願いします。
(菊池委員)
総合支所の機能強化ですけれども、地域振興課は実際に何人増えましたか。
(小国地域振興課長)

課長補佐が2人体制から3人体制になり、1名増えています。地域振興課としてはそれだけです。

(菊池委員)

本庁から総合支所に移す業務が増えたように思われます。生涯学習とかも支所に移ったようですので。「カネ」と「事業」は移ったようだけれども、職員体制の方がかなりきついのではないかと個人的に思っているの発言です。頑張ってください。

(小国地域振興課長)

施設は58施設いただいたわけですがけれども、元々、縦割りの本庁の課が所管している施設が様々大迫にあるわけですがけれども、その施設の管理に関しては、大迫にある係の担当者が縦割の仕事の中でやっていますので、仕事の的には同じです。ただ、今までは施設の管理はしていましたが、財源というか予算は持っていませんでしたけれども、今度は予算も一緒についてきたということになりますので、本庁に相談せずはこちらで解決ができるということで、少しは早事がきくのではないかと考えております。

(会長)

頑張っていたきたいと思います。他にありませんか。

(藤原総合支所長)

支所の機能強化についてですが、今回、昨年度検討した結果ということでございます。ただ、これで支所の機能がすっかり強化されたということではございません。また、色々な場面でこのように権限が移ってきて、もっと必要なところがまだまだあるかもしれません。ですので、今回、これで全て支所の機能を強化したという捉え方ではございません。皆様から色々な場面でご意見をいただきたいと考えております。

それから、人の関係ですがけれども、特に地域支援室につきましては、先ほど説明があったように振興センターには非常勤職員を置いています。昨年までは地域支援監が1人という体制だったのが、今年度は正職員が2人張り付いたということで、大まかな地域課題の担当をしてもらおうという部分では、人的には若干フォローしてもらっているのではないかと考えてございます。

あと、この強化の権限の中に早池峰山のことも従来は本庁の所管で山開きから早池峰山の自然保護関係は本庁所管でやっておりましたが、今年度からは早池峰山については地元大迫で取り組むということになってございますので、よろしくお願いいたします。

(会長)

確かに、充実されたというように見えますが、更に強化のために頑張っていくということのようです。

(松坂委員)

この協議会になる前の協議会の際に市長からお話をいただいたのですが、地域づくり交付金の支所評価のために、合併した市町村毎に、花巻市では総合支所毎に1千万円ずつということでしたから花巻市は3千万円がきたはずですが、地域づくり交付金というのは、その3千万円の中の予算ですか。

その時市長に話をしたのは、人員を増やすだけでは強化にはならないだろうという話をしたのですが、今回の案を見ると人員も予算も増えているようですし、決裁権もこちらにあるようですから、非常に良い方向になったと思いますが、ただ、確認です。地域づくり交付金という

のは、概ねひとつの総合支所につき1千万円の予算ということでしょうか。

(小国地域振興課長)

これは総合支所に入ってくる交付金ではなく、コミュニティ会議の方へのもの、大迫には4地区ありますけれどもその4地区への地域づくり交付金ですので、別のものということになります。

(松坂委員)

なぜこんなことを聞くかという、関わりがないのでお話ししますが、6次産業振興の交付金がありました。ひとつの自治体に対して1億5千万円だったと思うのですが、それを出していたということです。ところが、概要のチラシは作ってあるのですが、市民の理解度が少なかったため、もう少し理解してもらうように説明すればよいのではないかと担当に話をしたところ、担当者以外の方が、これは本年度に使われなければ、次の年度の一般会計に入るものなのであまり説明をしたくないと言われました。つまり、一括でおろして使わないものは次の年度の一般会計で自由に使える予算だから、使われないうほうが良いという含みがあったのかと思って話をしました。それと同じ予算なのかなと思ったということでした。以上です。

(会長)

ここの部分、よろしいでしょうか。議論していると次に進みませんので。よろしければ、次に進みます。次に、④、⑤、⑥をまとめて説明願います。

(小国地域振興課長)

資料No.3により、ぶどうの丘及び早池峰ダム周辺施設の運営について説明し、資料No.4により、人口減少対策について説明。

〈説明内容については、記載を省略〉

(会長)

それでは、③、④について、何かありましたら質問等をお願いします。

(藤原総合支所長)

④の人口減少対策について補足説明。

〈説明内容については、記載を省略〉

(会長)

今、総合支所長がお話になったことですが、実はこの間、花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議という会議がこの間ありまして、花巻市全体でも同じような問題を抱えているということで、第1回の会議が行われました。その中で、大迫町、石鳥谷町、東和町は1対9なのです。資料化されていなかったのです。花巻市からどれだけの人間がどのように動いているのかということだけの話でありました。私は、大迫として、各地域を抱えて花巻市が成り立っているのだから、大迫、石鳥谷、東和の抱える問題も整理して、次の会議にはしっかりと提案できるようにしていただきたいということを事務局にお話ししてその会議は終わったわけですが、その一環だと思っておりますので、ぜひ、この事業というものの概要を理解していただいて、何人でも良いので期待したいと大いに思っております。それから、26年度第5回の地域協議会の最後の部分だったと思うのですが、指定管理から指定の取り消しということで、その対応についてということで、27年度に更に具体的な対応の仕方については、今、小国課長から説明があったとおりでと理解してよろしいでしょうか。

〈「異議なし」の声あり〉

(会長)

では、そういうことで、何かありましたらお願いします。

(高橋委員)

森のくに関するのですが、5月14日に解散したときいたのですが、そのことについて詳細を教えてください。

(小国地域振興課長)

森のくへの食体験の部分ですが、右の方に行くと食堂がありまして、そこに食の体験ということで、大迫の昔の食とか体験できる、そういったものがあつたわけですけども、その中でひな祭りの時期にはひな饅頭を作ったりしていた団体があり、これがヒメコザクラという団体ですが、5月14日で解散されました。

(高橋委員)

早池峰観光については、総会が流れてしまったので再度総会を行うという文書が届いたところですが、その後、どうなっているのでしょうか。

(小国地域振興課長)

私が知り得た中ということですが、株主総会のことだと思いますけれども、今の予定ですと6月の末くらいには今の整理がつかまして、株主総会が行われるのではないかとことは掴んでおります。

(高橋委員)

全国の数字が載っているようですが、このうち花巻においてはどうなっているのかという分析はしていないのでしょうか。

(小国地域振興課長)

花巻市につきましては、平成27年度が最初の年になります。今年度からということですが、花巻では、今現在、5名の募集をかけてございます。旧花巻が1名、石鳥谷が1名、東和2名、大迫1名の募集をかけている最中です。

(会長)

続いて、⑤花巻市立大迫中学校の改築について、⑥岩手県立大迫高等学校の存続についての説明をお願いします。

(藤原地域支援室地域支援監)

資料No.5により花巻市立大迫中学校の改築について説明し、続いて資料No.6により岩手県立大迫高等学校の存続について説明。

〈 説明内容については、記載を省略 〉

(会長)

それでは、⑥の方から協議しますが、岩手県立大迫高等学校の存続についてというのは、この間の生徒確保対策協議会の決定、或いはその中身について説明したということになります。

ただ、市の財政支援が今年度更に大きくなったという部分が特段のお話だと捉えております。それでは、⑤の大迫中学校の改築について、質問意見を伺いたいと思います。

どこからでも結構ですので、質問等をお願いします。

(菅原委員)

プールの問題と同じく、給食の問題も出たという話を聞きましたが、給食センター方式になるということのようですが、そのことについてお願いします。

(藤原地域支援室地域支援監)

5月11日につきましては、説明に参った部署が校舎建築を担当する教育企画課というところでした。学校給食については小中学校課というところが所管しておりますので、11日にも給食に関わる意見が何点か出されました。その部分につきましては、教育委員会の教育企画課で持ち帰って小中学校課にこのような意見が出たという部分を伝えるということとなっております。

給食の部分につきましては、今後、改めてお話をすることになります。

(藤原総合支所長)

給食につきましては、中学生の息子がいるものですから保護者の立場でということですが、3月に保護者対象の給食についての説明会がございました。

先ほどの質問の中にもありました様に、給食のあり方について花巻市全体で考えていこうとするのだけれども、大迫については中学校の建築がもう待たないとなっているので、給食センターについても方針を示していきたいという中で、大迫の給食については給食センター方式を導入したいという一つの方針が示されておりました。メリットについては、専門の先生が配置できるということとか、一括管理して今の給食の設備は衛生面といった面でも老朽化しているし、限界がきているということで新たな給食センターを作って大迫全体の給食に対処したいという方針が示されておりました。その中で、場所については、どこということはありませんでしたし、一般の意見の中には中学校を作る際に給食センターを併せて作ってはどうかと、そうすれば仮にセンター方式がよいとした場合、中学校であれば配送は直ぐ傍だとよいだろうとかそういった色々な意見が出されまして、そういった意見を教育委員会に一度持ち帰ってから地域にお示ししたいという状況でありまして、その後につきましては未だ示されていないところであります。

(高橋委員)

この中学校の配置の図面をみると、国道396号線からいわゆる上町の方に通り抜けができなくなるように見えます。勿論、道路は無くなってもよろしいのですけれども、非常時の際にはここを抜けてどちらにも行ける方がよいのではないかと思っの質問です。

もう一つは、この間の中学校校舎のプールの件については、「検討します。検討します。ご意見を聴いて検討します。」という発言を教育委員会の方で何回もしておりました。私の頭の固定観念は、お役所の「検討します。」というのは、まず意見は聴いておくけれども、その対応を市で考える時間を稼いで、結論はやはりできませんでしたというのが「検討する。」ということであると、私の頭の中ではそのような定義になっております。ぜひ、それを改めるような対応、動きで納得させていただきたいというのが私の要望です。

(会長)

取付け道路は、いわゆる避難の問題についても対応できる取付け道路ができるのですよね。

(藤原総合支所長)

御承知の方も多いかと思いますが、校舎前の道路は実は市道でございまして、非常に問題だということもございまして。今回の配置案によりますと、この市道は当然廃止になるということになりますし、国道396号線から町内の方に下がる道路、これについてと国道396号線からのアクセスについては、現在、建設部と教育委員会でもどのような整備をすればよいか検討しています。勿論、給食センターについても、給食の配送トラックについても、例えば別な所

に作るのであればということですが、それなりの道路を通さないと学校給食もままならないだろうとか、色々な部分を踏まえた上で中学校周辺の道路関係については併せて整備するという事で、地権者がどういった状況かということも調査している状況でございます。これも建設部、教育部と併せて、基本設計に組み込んだ中で示されていくものだと思っておりますので、よろしくお願ひします。

それから、「検討します。検討します。」ということについてですが、おっしゃるとおりだと思います。具体的に結果を示しながらでないとなかなか納得させることはできないと思います。ただ今の高橋委員の御意見は真摯に受け止めたいと思います。ありがとうございました。

(菊池委員)

高校存続協議会の財政支援の内訳について分かるのであれば教えてください。

(藤原地域支援室地域支援監)

高等学校生徒確保対策協議会の平成27年度の予算では、大きくは生徒確保の通学費の補助の部分、これにつきましては月額4千円で大迫地域以外からタクシーで通学されている生徒24名に対しましての支援ということで、115万2千円を見込んでおりまして、これが一番大きくなっているところでございます。なお、これに伴いまして市の補助金ですが、5万円を68万円にということで御説明いたしました。大迫高等学校同窓会からも、平成26年度は10万円の予算であったものを27年度は73万円に増額していただきまして、この通学費補助に厚く事業費を確保したという状況となっております。

(会長)

今後も更に意見を言う機会があると思ひますので、「検討」という部分もありましたが、是非、実りある検討をしっかりとお願いいたしたいと思ひます

次に、「全国神楽大会ハヤチネ」の実施についての説明をお願いします。

(小国地域振興課長)

「全国神楽大会ハヤチネ」の実施について説明。

〈説明内容については、記載を省略〉

(会長)

全国神楽大会が間もなく持たれるので、よろしくお願ひいたしたいということなそうでございます。何かございませんか。

〈「なし」の声あり〉

4 その他

(小国地域振興課長)

その他として、ベルンドルフ市民訪問団・ギムナジウム生受入日程表(案)について説明。

〈説明内容については、記載を省略〉

(藤原地域支援室地域支援監)

その他として、うすゆき草サミットについて説明。(資料なし)

〈説明内容については、記載を省略〉

(会長)

本日の資料についてですが、事前にお配りいただければ大変助かると思ひました。次からはそのようにお願ひできればと思ひます。

それから、大迫高等学校の生徒確保対策協議会の委員、理事ですが、この間の新聞報道を見ますと、花巻市の主任児童委員も入るということで、私と瀬川行夫さんの二人が委員に入ることになっているのですが、そうすると地域協議会から私が出ているわけですが、その辺についてどう考えてよいか分かりませんので、お知恵をお借りしたいと思っておりました。私は委員として出ますが、一人二役でよいのかと思ったりしておりました。今でなくてよいので、お知恵をお借りしたいと思います。

あと無ければ終わりたいと思いますが何かありますか。

〈「なし」の声あり〉

(会長)

無いようですので、本日の会議を終了します。

ご苦労様でした。

5 閉 会

(小国地域振興課長)

